

第1章 総論

1 事業数（第1表・第1図）

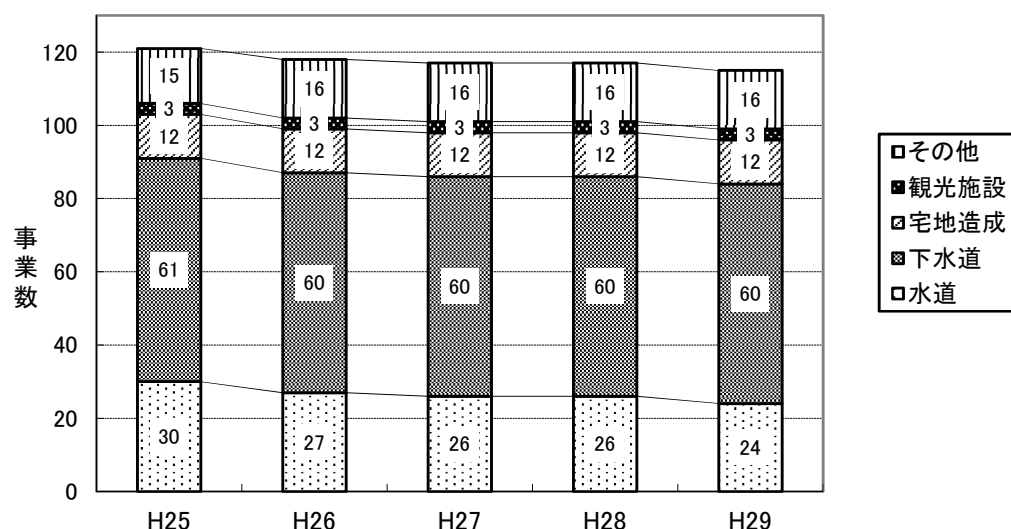
平成29年度における市町村等の地方公営企業数は、法適用企業は前年度と同数の31事業、法非適用企業は前年度から2事業減の84業で合計115業である。市町村合併等により、過去のピークであった平成14年度の189事業に比べ74事業（▲39.2%）減少した。

なお、事業数の73.0%は上下水道事業が占めている。

第1表 地方公営企業の事業数

項目		H25	H26	H27	H28(A)	構成比	H29(B)	構成比	B-A
法適用	上水道	24	23	23	23	19.7	23	20.0	—
	工業用水道	2	2	2	2	1.7	2	1.7	—
	病院	3	3	3	3	2.6	3	2.6	—
	下水道	2	2	2	2	1.7	2	1.7	—
	市場	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
	小計	32	31	31	31	26.5	31	27.0	—
法非適用	簡易水道	6	4	3	3	2.6	1	0.9	▲2
	下水道	59	58	58	58	49.6	58	50.4	—
	市場	6	6	6	6	5.1	6	5.2	—
	と畜場	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
	観光施設	3	3	3	3	2.6	3	2.6	—
	宅地造成	12	12	12	12	10.3	12	10.4	—
	駐車場	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
	介護サービス	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
電気		1	1	1		1	0.9	—	
小計	89	87	86	86	73.5	84	73.0	▲2	
合計	121	118	117	117	100.0	115	100.0	▲2	

第1図 事業数の推移



(注) 水道は、上水道及び簡易水道の計、下水道は、法適用及び法非適用の計である。

2 職員数（第2表・第2図）

平成29年度末において公営企業に従事する職員数は、1,056人であり、前年度末に比べ3人減少した。

なお、平成30年4月1日現在の公営企業に従事する職員数は、市町村・一部事務組合の全体の職員数16,186人の6.5%に相当する。

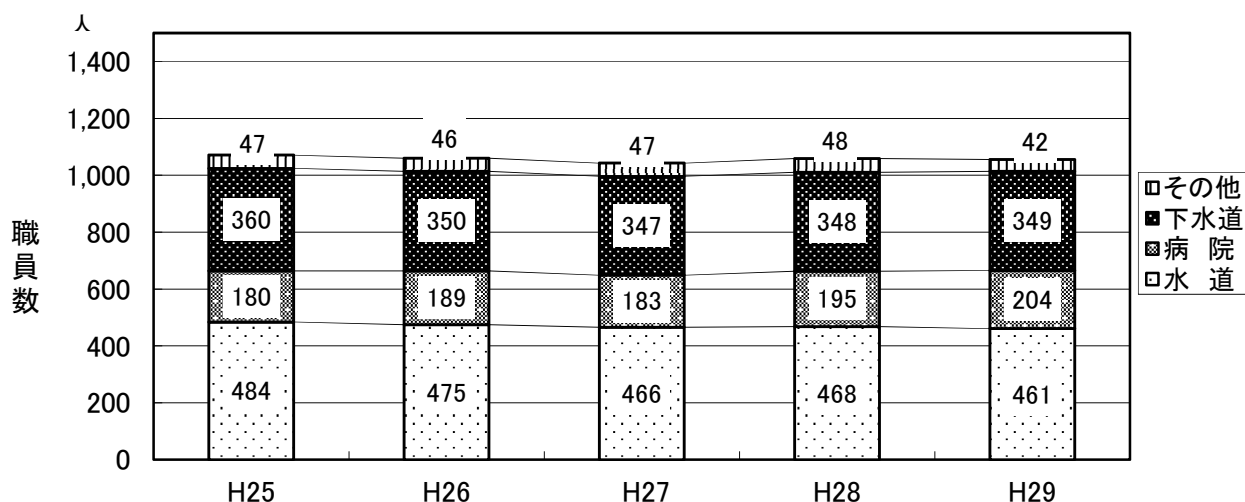
第2表 地方公営企業の職員数

(単位：人、%)

項目		H25	H26	H27	H28(A)	構成比	H29(B)	構成比	B-A
法適用	上水道	474	469	460	462	43.6	460	43.6	▲ 2
	工業用水道	3	3	3	2	0.2	2	0.2	—
	病院	180	189	183	195	18.4	204	19.3	9
	下水道	94	91	93	90	8.5	90	8.5	—
	市場	15	15	15	15	1.4	15	1.4	—
	小計	766	767	754	764	72.1	771	73.0	7
法非適用	簡易水道	10	6	6	6	0.6	1	0.1	▲ 5
	下水道	266	259	254	258	24.4	259	24.5	1
	市場	3	3	4	8	0.8	4	0.4	▲ 4
	と畜場	2	2	2	2	0.2	2	0.2	—
	観光施設	4	4	4	4	0.4	4	0.4	—
	宅地造成	19	18	18	16	1.5	14	1.3	▲ 2
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	1	1	1	1	0.1	1	0.1	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	305	293	289	295	27.9	285	27.0	▲ 10	
合計	1,071	1,060	1,043	1,059	100.0	1,056	100.0	▲ 3	

(注) 各年度の職員数は年度末の数値である。

第2図 事業別職員数の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

平成29年度の市町村等公営企業全体の決算規模は、1,116億78百万円で、前年度に比べ20億16百万円（▲1.8%）減少した。この主な要因は、宅地造成事業（法非適用）等の企業債償還金の減少に伴う資本的支出の減によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、法非適用下水道事業455億15百万円（全体の40.8%）、次いで上水道事業405億14百万円（同36.3%）であり、法適用下水道事業142億59百万円（同12.8%）、宅地造成事業57億59百万円（同5.2%）、病院事業38億30百万円（同3.4%）となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、過去のピークであった平成10年度（1,811億23百万円）の61.7%の水準まで低下し、平成29年度市町村等普通会計歳出決算規模8,067億36百万円（一部事務組合の決算額を含む）の13.8%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

（単位：百万円、%）

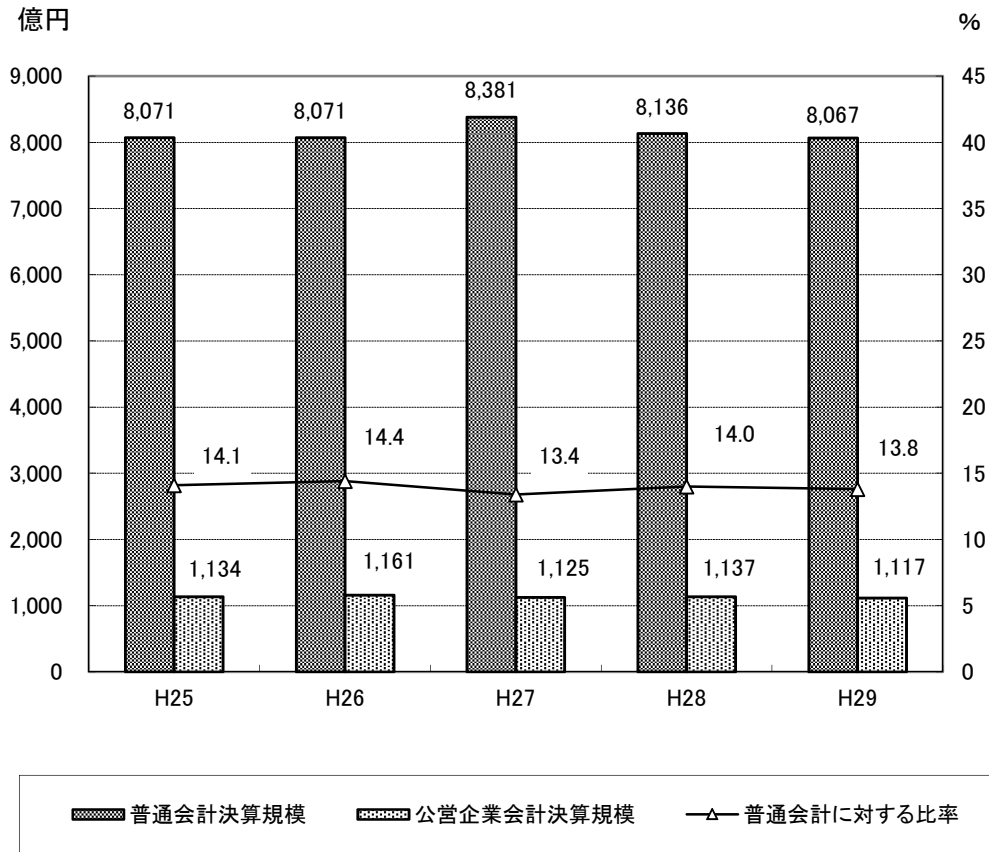
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(H25=100)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	
法適用	上水道	40,543	40,885	41,313	37,753	40,514	0.8	1.0	▲ 8.6	7.3	101	102	93	100
	工業用水道	167	180	168	144	177	8.2	▲ 7.0	▲ 14.3	23.1	108	101	86	106
	病院	3,692	3,965	3,854	3,874	3,830	7.4	▲ 2.8	0.5	▲ 1.1	107	104	105	104
	下水道	17,372	14,352	15,073	13,829	14,259	▲ 17.4	5.0	▲ 8.3	3.1	83	87	80	82
	市場	539	612	693	641	596	13.7	13.1	▲ 7.5	▲ 7.0	114	129	119	111
	小計	62,313	59,996	61,100	56,242	59,376	▲ 3.7	1.8	▲ 8.0	5.6	96	98	90	95
法非適用	簡易水道	736	631	562	586	108	▲ 14.3	▲ 10.9	4.3	▲ 81.6	86	76	80	15
	下水道	45,815	50,140	46,869	47,122	45,515	9.4	▲ 6.5	0.5	▲ 3.4	109	102	103	99
	市場	785	809	802	754	330	3.0	▲ 0.9	▲ 6.0	▲ 56.3	103	102	96	42
	と畜場	77	87	77	74	72	11.9	▲ 11.3	▲ 4.1	▲ 2.0	112	99	95	93
	観光施設	251	259	229	260	271	3.0	▲ 11.4	13.4	4.2	103	91	103	108
	宅地造成	3,240	3,948	2,642	8,404	5,759	21.9	▲ 33.1	218.1	▲ 31.5	122	82	259	178
	駐車場	149	142	144	144	142	▲ 4.3	1.4	▲ 0.2	▲ 1.0	96	97	97	96
	介護サービス	54	52	65	51	50	▲ 4.3	25.7	▲ 21.3	▲ 3.4	96	120	95	91
	電気		50	58	57	55	皆増	15.1	▲ 0.1	▲ 4.1	—	—	—	—
	小計	51,108	56,118	51,448	57,452	52,302	9.8	▲ 8.3	11.7	▲ 9.0	110	101	112	102
合計	113,420	116,114	112,548	113,694	111,678	2.4	▲ 3.1	1.0	▲ 1.8	102	99	100	98	

（注）決算規模の算出方法は次のとおり。

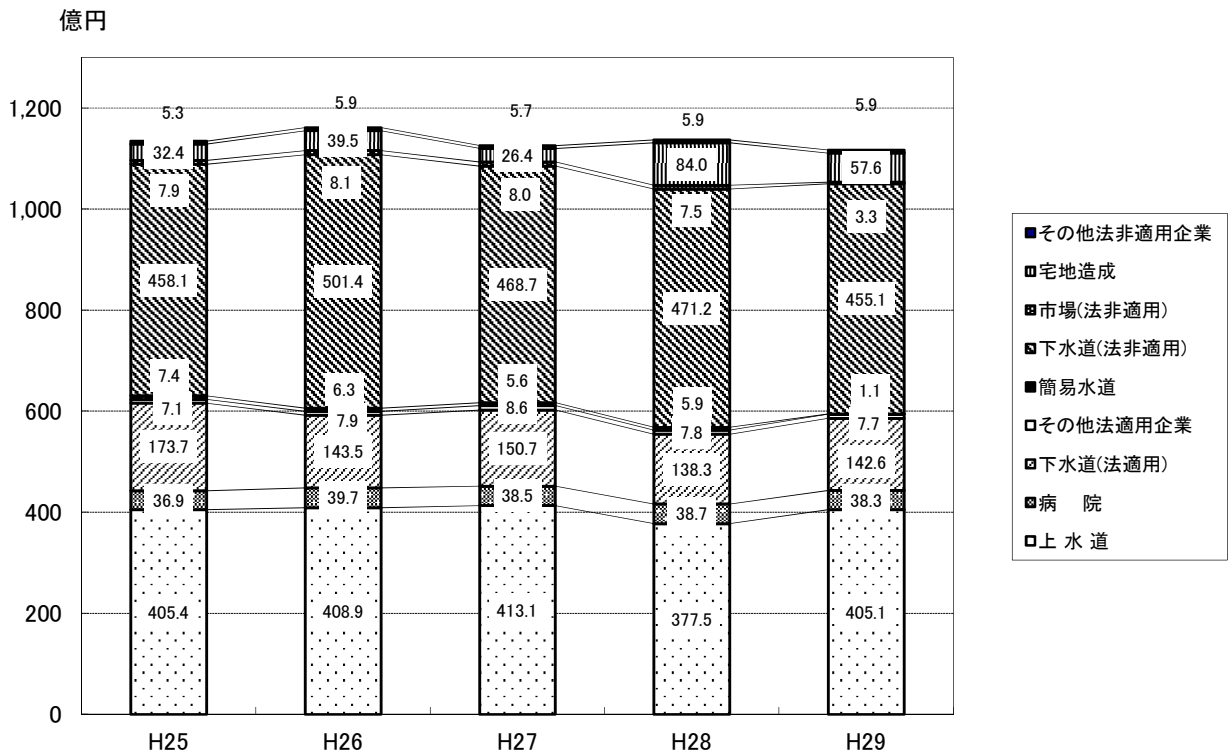
法適用企業：総費用－減価償却費＋資本的支出（建設改良費や企業債償還金等の支出）

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 事業別決算規模の推移



4 建設投資額（第4表・第5図）

平成29年度の建設投資額は295億54百万円で、前年度に比べ13億55百万円（4.8%）増加した。この増加のうち主なものは、上水道事業（+24億6百万円）である。建設投資額が最も大きい事業は、上水道事業139億75百万円（全体の47.3%）、次いで、法非適用下水道事業106億81百万円（同36.1%）、法適用下水道事業30億51百万円（同10.3%）となっている。

公営企業の建設投資額は、過去のピークであった平成7年度（997億1千万円）に比べ29.6%の水準まで低下している。特に建設投資額全体の46.5%を占める下水道事業は、過去のピークであった平成8年度（667億94百万円）の20.5%の水準まで低下している。

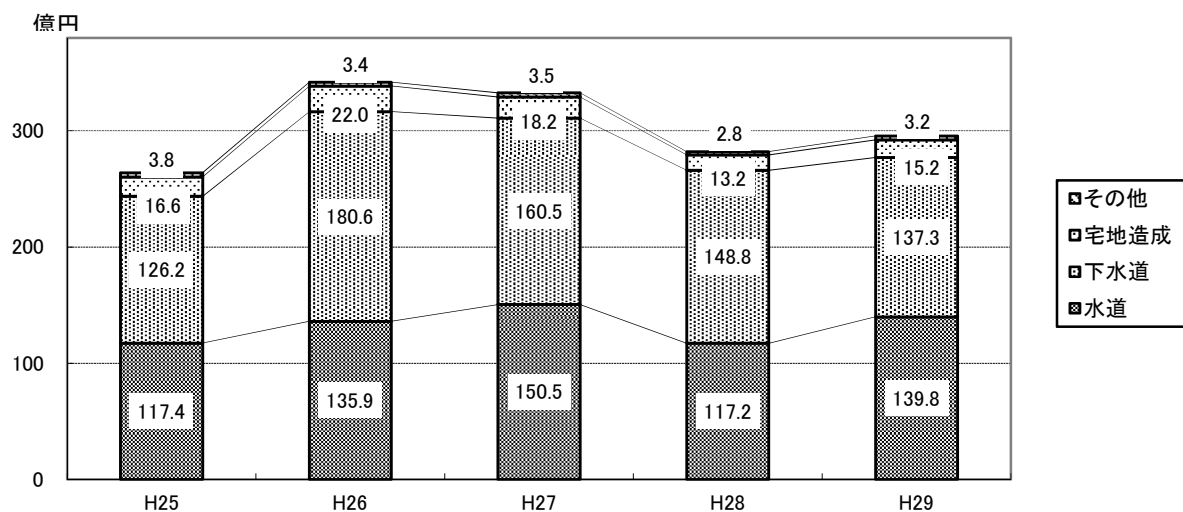
第4表 地方公営企業の建設投資額の推移

（単位：百万円、%）

項目	建設投資額					対前年度増加率				伸長指数 (H25=100)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	
法適用	上水道	11,605	13,404	14,926	11,569	13,975	15.5	11.4	▲22.5	20.8	116	129	100	120
	工業用水道	39	39	20	26	55	0.0	▲48.7	30.0	110.2	100	51	67	140
	病院	300	255	292	222	231	▲15.0	14.3	▲23.8	4.0	85	97	74	77
	下水道	2,087	1,934	3,793	2,474	3,051	▲7.3	96.1	▲34.8	23.3	93	182	119	146
	市場	9	29	10	11	17	208.2	▲65.0	12.0	54.9	308	108	121	187
	小計	14,040	15,661	19,041	14,303	17,329	11.5	21.6	▲24.9	21.2	112	136	102	123
法非適用	簡易水道	136	186	126	154	6	36.9	▲32.2	21.9	▲96.2	137	93	113	4
	下水道	10,537	16,128	12,258	12,408	10,681	53.1	▲24.0	1.2	▲13.9	153	116	118	101
	市場	—	—	—	—	2	—	—	—	皆増	—	—	—	—
	と畜場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	観光施設	18	7	12	11	9	▲59.7	66.8	▲6.1	▲19.3	40	67	63	51
	宅地造成	1,660	2,203	1,819	1,318	1,520	32.7	▲17.4	▲27.6	15.4	133	110	79	92
	駐車場	1	1	1	1	6	▲15.2	▲10.4	47.4	355.5	—	76	112	510
	介護サービス	8	5	18	5	2	▲32.8	255.8	▲74.7	▲53.1	67	239	61.0	28
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	12,359	18,531	14,234	13,896	12,225	49.9	▲23.2	▲2.4	▲12.0	150	115	112	99	
合計	26,399	34,192	33,274	28,199	29,554	29.5	▲2.7	▲15.3	4.8	130	126	107	112	

（注）建設投資額とは、資本的支出の建設改良費である。

第5図 建設投資額の推移



（注）水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

5 企業債（第5表、第6図、第6表、第7図、第7表、第8図）

1 企業債発行額

平成29年度の企業債発行額（資本的収入のうち企業債）は134億79百万円で、前年度に比べ12百万円（▲0.1%）減少した。この主な要因は、建設改良費の減少である。

企業債発行額の大きな事業は、法非適用下水道事業78億47千万円（全体の58.2%）、次いで上水道事業37億56百万円（同27.9%）、法適用下水道事業11億92百万円（同8.8%）となっている。

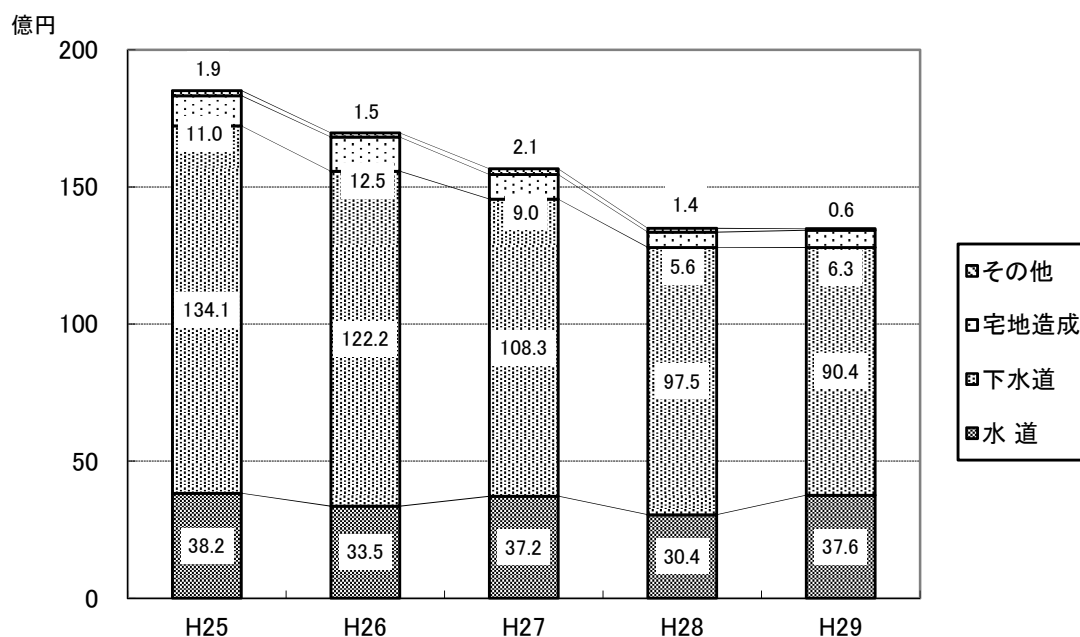
第5表 地方公営企業の企業債発行額の推移

（単位：百万円、%）

項目	企業債発行額					対前年度増減				伸長指数(H25=100)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	
法適用	上水道	3,751	3,279	3,672	2,954	3,756	▲12.6	12.0	▲19.6	27.2	87	98	79	100
	工業用水道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	病院	186	149	212	140	59	▲19.5	41.8	▲34.0	▲58.1	80	114	75	32
	下水道	4,731	713	2,425	1,129	1,192	▲84.9	240.1	▲53.4	5.5	15	51	24	25
	市場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	8,668	4,142	6,309	4,222	5,006	▲52.2	52.3	▲33.1	18.6	48	73	49	58
法非適用	簡易水道	71	74	49	91	—	3.7	▲34.0	87.0	皆減	104	68	128	—
	下水道	8,675	11,510	8,408	8,620	7,847	32.7	▲26.9	2.5	▲9.0	133	97	99	90
	市場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	と畜場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	観光施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	宅地造成	1,103	1,246	901	559	627	12.9	▲27.7	▲38.0	12.2	113	82	51	57
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	9,849	12,830	9,358	9,269	8,473	30.3	▲27.1	▲1.0	▲8.6	130	95	94	86	
合計	18,518	16,971	15,667	13,491	13,479	▲8.4	▲7.7	▲13.9	▲0.1	92	85	73	73	

（注）企業債＝地方債

第6図 企業債発行額の推移



（注）水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

2 企業債元利償還額

平成29年度の企業債元利償還額は458億61百万円で、前年度に比べ5億45百万円（1.2%）増加した。

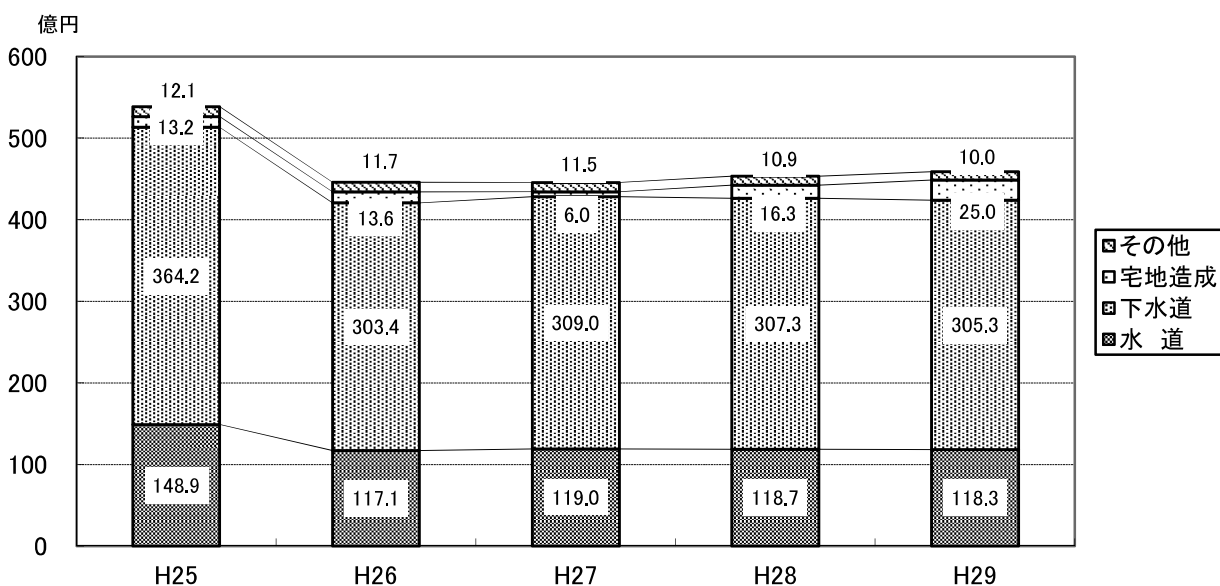
企業債元利償還額の大きな事業は下水道事業で、法適用及び法非適用の合計は305億28百万円（全体の66.6%）、次いで上水道事業117億87百万円（同25.7%）がこれに続き、これに簡易水道事業を加えた上下水道関係事業の償還額の合計は423億62百万円となり、公営企業全体の92.4%になる。

第6表 地方公営企業の企業債元利償還額の推移

（単位：百万円、%）

項目	企業債元利償還額					対前年度増減				伸長指数 (H25=100)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	
法適用	上水道	14,581	11,467	11,656	11,636	11,787	▲ 21.4	1.6	▲ 0.2	1.3	79	80	80	81
	工業用水道	41	41	41	39	36	—	—	▲ 4.1	▲ 7.8	100	100	96	88
	病院	617	584	568	510	455	▲ 5.3	▲ 2.8	▲ 10.2	▲ 10.9	95	92	83	74
	下水道	11,427	7,256	7,174	7,043	6,881	▲ 36.5	▲ 1.1	▲ 1.8	▲ 2.3	64	63	62	60
	市場	118	118	118	118	118	—	—	—	—	100	100	100	100
	小計	26,782	19,466	19,555	19,345	19,276	▲ 27.3	0.5	▲ 1.1	▲ 0.4	73	73	72	72
法非適用	簡易水道	310	245	247	237	47	▲ 20.9	0.8	▲ 4.2	▲ 80.4	79	80	76	15
	下水道	24,996	23,081	23,727	23,685	23,647	▲ 7.7	2.8	▲ 0.2	▲ 0.2	92	95	95	95
	市場	372	372	366	366	333	—	▲ 1.6	—	▲ 9.1	100	98	98	89
	と畜場	12	12	12	12	12	—	—	—	—	100	100	100	100
	観光施設	13	7	7	7	7	▲ 47.0	9.5	▲ 0.4	▲ 0.4	53	58	58	58
	宅地造成	1,317	1,364	596	1,627	2,502	3.5	▲ 56.3	173.1	53.8	104	45	123	190
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	37	37	37	37	37	—	—	—	—	100	100	100	100
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	27,057	25,118	24,992	25,971	26,584	▲ 7.2	▲ 0.5	3.9	2.4	93	92	96	98	
合計	53,839	44,584	44,547	45,316	45,861	▲ 17.2	▲ 0.1	1.7	1.2	83	83	84	85	

第7図 企業債元利償還額の推移



（注）水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

3 企業債現在高

平成29年度末の企業債現在高は4,302億22百万円で、前年度に比べ234億19百万円（▲5.2%）減少した。また、企業債現在高は、公営企業決算規模1,116億78百万円の約3.9倍になっており、決算規模が普通会計歳出決算規模（8,067億36百万円）の13.8%であるのに対し、普通会計地方債現在高（6,286億42百万円）の68.4%の水準に達している。

なお、企業債現在高と普通会計地方債現在高を合わせると、1兆588億64百万円になる。

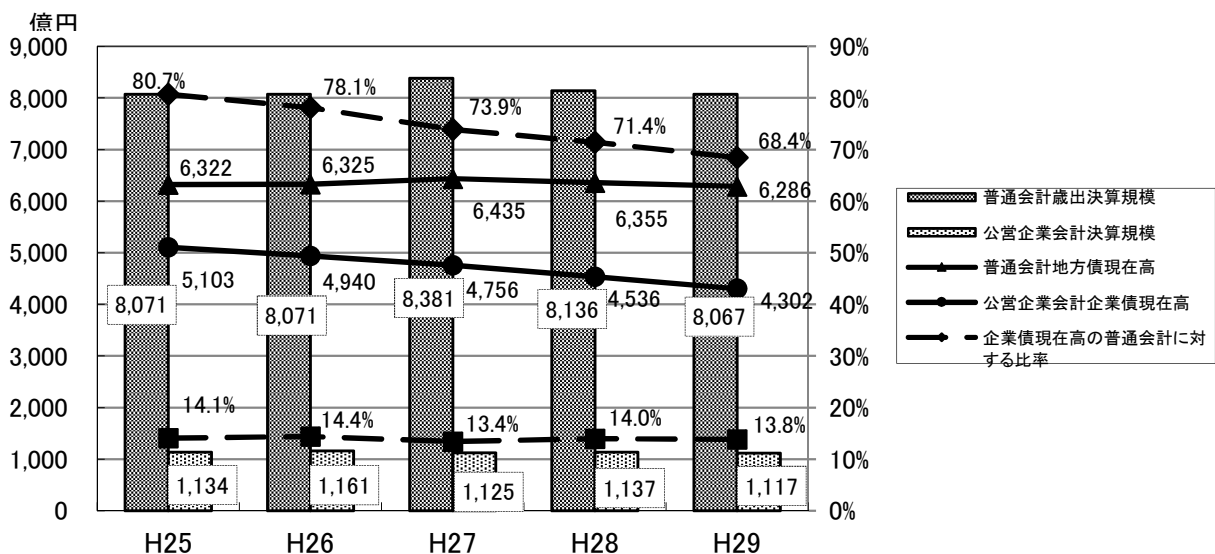
第7表 地方公営企業の企業債現在高の推移

（単位：百万円、%）

項目	企業債現在高					対前年度増減率				伸長指数(H25=100)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	
法適用	上水道	139,384	134,940	129,992	124,125	120,635	▲3.2	▲3.7	▲4.5	▲2.8	97	93	89	87
	工業用水道	298	262	226	190	157	▲12.0	▲14.0	▲15.8	▲17.6	88	76	64	52
	病院	3,717	3,387	2,996	2,703	2,376	▲8.9	▲11.5	▲9.8	▲12.1	91	81	73	64
	下水道	74,115	69,325	66,211	61,803	57,489	▲6.5	▲4.5	▲6.7	▲7.0	94	89	83	78
	市場	663	569	470	369	263	▲14.3	▲17.2	▲21.6	▲28.6	86	71	56	40
	小計	218,178	208,484	199,894	189,190	180,920	▲4.4	▲4.1	▲5.4	▲4.4	96	92	87	83
法非適用	簡易水道	3,003	2,352	2,202	2,100	149	▲21.7	▲6.4	▲4.6	▲92.9	78	73	70	5
	下水道	284,093	278,534	268,942	259,279	248,334	▲2.0	▲3.4	▲3.6	▲4.2	98	95	91	87
	市場	1,338	1,021	696	356	27	▲23.7	▲31.9	▲48.8	▲92.3	76	52	27	2
	と畜場	57	46	35	23	12	▲19.3	▲24.4	▲32.8	▲49.6	81	61	41	21
	観光施設	127	121	114	107	100	▲4.9	▲5.7	▲6.0	▲6.4	95	90	84	79
	宅地造成	3,372	3,270	3,581	2,516	645	▲3.0	9.5	▲29.7	▲74.4	97	106	75	19
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	162	133	102	70	36	▲18.1	▲23.2	▲31.7	▲48.8	82	63	43	22
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	292,152	285,475	275,671	264,451	249,303	▲2.3	▲3.4	▲4.1	▲5.7	98	94	91	85
合計	510,330	493,959	475,565	453,641	430,222	▲3.2	▲3.7	▲4.6	▲5.2	97	93	89	84	

（注）企業債＝地方債

第8図 企業債現在高及び決算規模の推移



（注）普通会計歳出決算規模及び普通会計地方債現在高は一部事務組合を含む。
水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

6 他会計繰入金（第8表・第9表・第9図）

平成29年度の地方公営企業に対する他会計からの繰入金は288億85百万円で、前年度に比べ2億69百万円（▲0.9%）減少した。このうち、国の示す「平成29年度の地方公営企業繰出金について」に基づき一般会計が負担した額（基準内繰入金）は235億44百万円（全体の81.5%）であるのに対し、繰出基準に基づかない繰入金（基準外繰入金）は53億42百万円（同18.5%）で、この基準外繰入金は、実質的には財源不足を補うための赤字補てん等に充てられている。

基準外繰入金の額が大きい事業は下水道事業の30億94百万円（法適用及び法非適用の合計）で、基準外繰入金全体の57.9%に相当する。

第8表 地方公営企業への他会計繰入金の推移

（単位：百万円、%）

項目	他会計繰入金					対前年度増減率				伸長指数(H25=100)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	
法適用	上水道	1,994	2,024	1,715	1,665	1,745	1.5	▲15.3	▲2.9	4.8	101	86	84	87
	工業用水道	41	38	45	36	30	▲7.2	18.4	▲19.3	▲15.9	93	110	89	75
	病院	1,544	1,735	1,493	1,368	1,471	12.4	▲13.9	▲8.4	7.5	112	97	89	95
	下水道	4,884	4,848	4,699	4,910	4,327	▲0.7	▲3.1	4.5	▲11.9	99	96	101	89
	市場	72	129	236	206	150	79.9	82.9	▲12.3	▲27.3	180	329	288	210
	小計	8,534	8,774	8,187	8,186	7,723	2.8	▲6.7	-	▲5.7	103	96	96	90
法非適用	簡易水道	181	136	139	133	23	▲24.9	2.0	▲4.5	▲82.5	75	77	73	13
	下水道	19,926	19,665	19,504	19,341	20,089	▲1.3	▲0.8	▲0.8	3.9	99	98	97	101
	市場	473	455	455	437	231	▲3.9	0.1	▲3.9	▲47.2	96	96	92	49
	と畜場	56	48	46	46	45	▲13.5	▲3.9	▲0.5	▲2.0	86	83	83	81
	観光施設	39	43	53	56	76	10.1	23.2	4.8	36.4	110	136	142	194
	宅地造成	1,224	1,510	746	904	647	23.4	▲50.6	21.2	▲28.4	123	61	74	53
	駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護サービス	54	52	65	51	50	▲4.2	25.6	▲21.2	▲3.4	96	-	95	92
	電気	-	0	-	-	-	-	皆減	-	-	-	-	-	-
	小計	21,953	21,910	21,009	20,969	21,162	▲0.2	▲4.1	▲0.2	0.9	100	96	96	96
合計	30,488	30,684	29,196	29,154	28,885	0.6	▲4.8	▲0.1	▲0.9	101	96	96	95	

（注）下水道事業の他会計繰入金には、雨水処理負担金が含まれている。

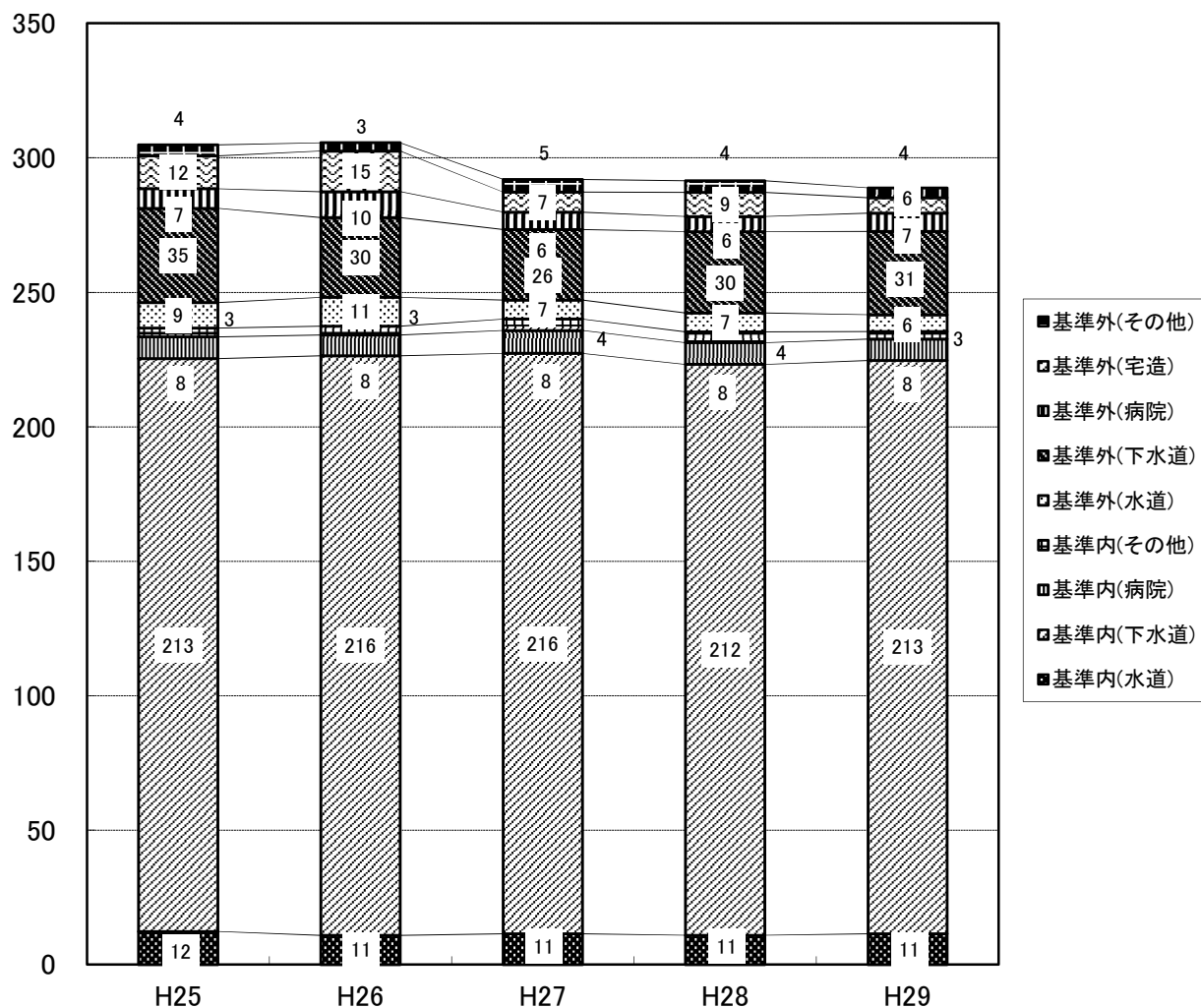
第9表 他会計繰入金の内訳

(単位：百万円、%)

項 目	収益的収入			資本的収入			他会計繰入金合計			基準外繰入金の割合 B/A	
	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計 A	基準内繰入金 B	基準外繰入金		
法適用	上水道	600	338	262	1,145	783	362	1,745	1,121	624	35.8
	工業用水道	9	—	9	21	—	21	30	—	30	100.0
	病院	1,218	553	666	253	239	14	1,471	792	679	46.2
	下水道	3,596	3,567	30	731	190	541	4,327	3,757	570	13.2
	市場	97	67	31	53	53	—	150	119	31	20.5
	小計	5,521	4,524	997	2,202	1,265	937	7,723	5,789	1,935	25.0
法非適用	簡易水道	2	2	—	21	21	—	23	23	—	—
	下水道	16,579	16,129	450	3,511	1,436	2,075	20,089	17,565	2,524	12.6
	市場	63	13	50	168	83	85	231	96	135	58.4
	と畜場	34	—	34	12	—	12	45	—	45	100.0
	観光施設	76	—	76	—	—	—	76	—	76	100.0
	宅地造成	124	71	53	524	—	524	647	71	577	89.1
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	14	—	14	36	—	36	50	—	50	100.0
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	16,891	16,215	676	4,271	1,540	2,731	21,162	17,755	3,407	16.1	
合 計	22,413	20,739	1,674	6,473	2,805	3,668	28,885	23,544	5,342	18.5	
28年度	22,437	20,750	1,687	6,718	2,782	3,936	29,154	23,532	5,623	19.3	

第9図 他会計繰入金の推移

億円



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

7 法適用企業の経営状況

(第10表・第11表・第12表・第13表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業のうち、地方公営企業法の全部又は財務規定等を適用し、その経理を企業会計方式(複式簿記)で会計処理を行っている事業を法適用企業といい、平成29年度においては前年度と同数の31事業であった。法適用企業の決算規模は593億76百万円で、前年度に比べ31億34百万円(5.6%)増加しており、法適用と法非適用を合わせた決算規模全体に占める割合は53.2%となっている。

1 損益収支

平成29年度の法適用企業の経常損益は、経常収益(営業収益+営業外収益)が556億65百万円、経常費用(営業費用+営業外費用)が487億48百万円で、差引69億18百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額が1億73百万円(▲2.4%)減少した。但し、これは一般会計からの基準外繰入金9億97百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な経常損益の黒字額は59億2千万円であった。また、経常収支比率は114.2%で、前年度を0.5ポイント下回った。

純損益は68億94百万円で、前年度に比べ1億47百万円(▲2.1%)減少した。そのうち純利益を生じた事業(黒字事業)は30事業(前年度29事業)、純損失を生じた事業(赤字事業)は1事業(前年度2事業)あり、純損失の内訳は病院事業1事業となっている。

2 累積欠損金(当年度未処理欠損金)

平成29年度末の累積欠損金は21億18百万円で、前年度に比べ1億26百万円(6.3%)増加した。累積欠損金を保有する事業は2事業で、内訳は病院事業2事業となっている。

3 資本的収支

平成29年度の建設改良費等の資本的支出は327億57百万円で、前年度に比べ32億3百万円(10.8%)増加した。この主な要因は、上水道事業の建設改良費が増加したことである。資本的支出の内訳は、建設改良費が173億29百万円、企業債償還金が151億85百万円等となっている。一方、資本的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が95億12百万円で、前年度に比べ7億66百万円(8.8%)増加し、損益勘定留保資金等の内部資金は232億46百万円で、前年度に比べ24億37百万円(11.7%)増加した。

第10表 法適用企業の決算状況の推移

(単位:千円、%)

項 目	H25	H26	H27	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
						B-A (C)	C/A
総 収 益 (a)	50,968,335	56,993,627	56,083,765	55,817,312	55,824,275	6,963	—
経 常 収 益 (b)	50,770,697	55,824,768	55,584,106	55,367,446	55,665,066	297,620	0.5
営業(医業)収益 (c)	45,192,490	44,732,099	44,752,779	45,183,665	45,392,323	208,658	0.5
うち料金収入	41,980,971	41,714,527	41,652,155	41,880,605	42,203,436	322,831	0.8
他会計補助金	4,657,311	4,747,658	4,330,738	3,880,024	4,024,822	144,798	3.7
他会計負担金	1,728,212	1,649,373	1,565,899	1,546,769	1,465,845	▲ 80,924	▲ 5.2
国庫県補助金	9,232	7,888	248,838	10,978	7,106	▲ 3,872	▲ 35.3
長期前受金戻入	—	5,489,533	5,465,595	5,420,322	5,494,334	74,012	1.4
特 別 利 益 (d)	197,638	1,168,859	499,659	449,866	159,209	▲ 290,657	▲ 64.6
総 費 用 (e)	45,584,809	51,759,861	49,108,662	48,776,267	48,930,672	154,405	0.3
経 常 費 用 (f)	45,279,655	48,287,467	48,252,072	48,276,668	48,747,549	470,881	1.0
営業(医業)費用	39,227,168	42,431,850	42,793,845	43,236,167	43,866,877	630,710	1.5
うち職員給与費	5,533,013	5,136,843	5,153,404	5,153,220	5,064,326	▲ 88,894	▲ 1.7
うち減価償却費	18,558,310	15,143,718	21,846,700	22,089,118	22,311,970	222,852	1.0
支払利息	5,550,061	5,096,908	4,779,363	4,418,251	4,091,889	▲ 326,362	▲ 7.4
特 別 損 失 (g)	305,154	3,472,394	856,590	499,599	183,123	▲ 316,476	▲ 63.3
経 常 損 益 (b-f)	5,491,042	7,537,301	7,332,034	7,090,778	6,917,517	▲ 173,261	▲ 2.4
経常利益	5,533,845	7,651,115	7,470,382	7,196,614	7,045,378	▲ 151,236	▲ 2.1
経常損失(Δ) (h)	42,803	113,814	138,348	105,846	127,861	22,015	20.8
特 別 損 益 (d-g)	▲ 107,516	▲ 2,303,535	▲ 356,931	▲ 49,733	▲ 23,914	25,819	51.9
純 損 益 (a-e)	5,383,526	5,233,766	6,975,103	7,041,045	6,893,603	▲ 147,442	▲ 2.1
累積欠損金 (i)	2,516,023	1,770,395	1,885,931	1,992,249	2,117,763	125,514	6.3
不良債務 (j)	—	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (b/f)	112.1	115.6	115.2	114.7	114.2	▲ 0.5	—
総収支比率 (a/e)	111.8	110.1	114.2	114.4	114.1	▲ 0.3	—
経常損失比率 (h/c)	0.1	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	—
累積欠損金比率(i/c)	5.6	4.0	4.2	4.4	4.7	0.3	—
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	—	—	—	—
総 事 業 数	32	31	31	31	31	—	—
うち建設中	—	—	—	—	—	—	—
経常損失事業数	1	2	2	2	2	—	—
累積欠損金保有事業数	4	3	3	3	2	▲ 1	▲ 33.3
不良債務保有事業数	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 本表の数値は、建設中の事業を含むものである。
2. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。
3. 経常収益＝総収益－特別利益
4. 経常費用＝総費用－特別損失

第11表 法適用企業の事業別決算状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病 院	下水道	市 場	全事業
総 収 益 (a)	38,156,327	201,253	3,425,871	13,430,679	610,145	55,824,275
経 常 収 益 (b)	38,070,788	201,253	3,384,504	13,429,169	579,352	55,665,066
営業収益 (c)	34,186,835	184,051	2,230,121	8,332,118	459,198	45,392,323
うち料金収入	32,276,540	179,396	1,969,285	7,391,249	386,966	42,203,436
他会計補助金	458,544	9,399	698,372	2,791,810	66,697	4,024,822
他会計負担金	141,357	—	519,998	804,490	—	1,465,845
国庫県補助金	—	—	6,106	1,000	—	7,106
長期前受金戻入	3,065,772	7,409	94,511	2,274,040	52,602	5,494,334
特 別 利 益 (d)	85,539	—	41,367	1,510	30,793	159,209
総 費 用 (e)	32,555,440	140,175	3,555,345	12,071,085	608,627	48,930,672
経 常 費 用 (f)	32,446,615	140,175	3,512,365	12,070,584	577,810	48,747,549
営業費用	29,789,339	136,523	2,757,901	10,619,625	563,489	43,866,877
うち職員給与費	2,907,892	16,849	1,481,857	534,142	123,586	5,064,326
うち減価償却費	15,408,239	51,453	348,164	6,369,073	135,041	22,311,970
支払利息	2,631,907	2,443	69,760	1,375,623	12,156	4,091,889
特 別 損 失 (g)	108,825	—	42,980	501	30,817	183,123
経 常 損 益 (b-f)	5,624,173	61,078	▲ 127,861	1,358,585	1,542	6,917,517
経常利益	5,624,173	61,078	—	1,358,585	1,542	7,045,378
経常損失(△) (h)	—	—	127,861	—	—	127,861
特 別 損 益 (d-g)	▲ 23,286	—	▲ 1,613	1,009	▲ 24	▲ 23,914
純 損 益 (a-e)	5,600,887	61,078	▲ 129,474	1,359,594	1,518	6,893,603
純利益	5,600,887	61,078	132	1,359,594	1,518	7,023,209
純損失(△)	—	—	129,606	—	—	129,606
累積欠損金 (i)	—	—	2,117,763	—	—	2,117,763
不良債務 (j)	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (b/f)	117.3	143.6	96.4	111.3	100.3	114.2
総収支比率 (a/e)	117.2	143.6	96.4	111.3	100.2	114.1
経常損失比率 (h/c)	—	—	5.7	—	—	0.3
累積欠損金比率(i/c)	—	—	95.0	—	—	4.7
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	—	—	—
総 事 業 数	23	2	3	2	1	31
うち建設中	—	—	—	—	—	—
経常損失事業数	—	—	2	—	—	2
純損失事業数	—	—	1	—	—	1
累積欠損金保有事業数	—	—	2	—	—	2
不良債務保有事業数	—	—	—	—	—	—
基準外他会計繰入金	261,981	9,399	665,707	29,567	30,753	997,407
〃 控除後の経常損益	5,362,192	51,679	▲ 793,568	1,329,018	▲ 29,211	5,920,110
〃 控除後の純損益	5,338,906	51,679	▲ 795,181	1,330,027	▲ 29,235	5,896,196

- (注) 1. 本表の数値は、建設中の事業を含むものである。
 2. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。
 3. 経常収益＝総収益－特別利益
 4. 経常費用＝総費用－特別損失

第12表 法適用企業の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項 目	H25	H26	H27	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
						B-A (C)	C/A
資本的支出							
建設改良費	14,039,886	15,661,176	19,040,677	14,302,826	17,328,806	3,025,980	21.2
企業債償還金	21,231,825	14,368,956	14,775,715	14,927,047	15,184,796	257,749	1.7
他会計借入金返還額	—	—	—	—	—	—	—
その他	14,102	58,341	22,052	324,522	243,810	▲ 80,712	▲ 24.9
計	35,285,813	30,088,473	33,838,444	29,554,395	32,757,412	3,203,017	10.8
財源							
内部資金	22,776,898	21,977,471	22,720,756	20,808,775	23,245,896	2,437,121	11.7
外部資金	12,508,915	8,111,002	11,117,688	8,745,620	9,511,516	765,896	8.8
1. 企業債	8,668,100	4,141,700	6,308,900	4,222,400	5,005,800	783,400	18.6
2. 他会計繰入金	2,039,995	2,229,423	2,259,523	2,701,400	2,201,898	▲ 499,502	▲ 18.5
3. 国・県補助金	1,096,945	1,048,585	1,570,601	1,237,616	1,607,775	370,159	29.9
4. 翌年度繰越財源充当(△)	—	—	20,952	24,550	44,970	20,420	83.2
計	35,285,813	30,088,473	33,730,373	29,554,395	32,757,412	3,203,017	10.8
財源不足額	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

第13表 法適用企業の事業別資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病院	下水道	市場	全事業
資本的支出						
建設改良費	13,975,045	54,594	231,195	3,050,606	17,366	17,328,806
企業債償還金	9,155,524	33,410	384,884	5,505,526	105,452	15,184,796
他会計借入金返還額	—	—	—	—	—	—
その他	235,765	—	6,720	1,325	—	243,810
計	23,366,334	88,004	622,799	8,557,457	122,818	32,757,412
財源						
内部資金	17,089,944	67,083	308,369	5,710,407	70,093	23,245,896
外部資金	6,276,390	20,921	314,430	2,847,050	52,725	9,511,516
1. 企業債	3,755,800	—	58,500	1,191,500	—	5,005,800
2. 他会計繰入金	1,145,010	20,921	252,570	730,672	52,725	2,201,898
3. 国・県補助金	702,799	—	—	904,976	—	1,607,775
4. 翌年度繰越財源充当(△)	—	—	—	44,970	—	44,970
計	23,366,334	88,004	622,799	8,557,457	122,818	32,757,412
財源不足額	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

8 法非適用企業の経営状況

(第14表・第15表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業法の規定を適用していない事業で、地方財政法第6条の規定に基づき、その経理を特別会計を設けて官庁会計方式（単式簿記）で会計処理を行っている事業を法非適用企業といい、平成29年度においては、84事業（前年度比▲2事業）であった。法非適用企業の決算規模は523億2百万円で、前年度に比べ51億5千万円（▲9.0%）減少した。

1 収益的収支

平成29年度の法非適用企業の収益的収支は、総収益は354億8千万円で、前年度に比べ6億2千万円（▲1.7%）減少した。一方、総費用は169億12百万円で、前年度に比べ3億87百万円（▲2.2%）減少した。この結果、総収益と総費用との収支差引は185億68百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額は2億33百万円（▲1.2%）減少した。この収支差引を事業別に見ると、下水道事業142億48百万円、宅地造成事業42億34百万円等となっている。但し、これは一般会計からの基準外繰入金6億76百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支の黒字額は178億92百万円であった。

2 資本的収支

平成29年度の資本的収支は、資本的支出が349億96百万円で、前年度に比べ34億56百万円（▲9.0%）減少した。この主な要因は、下水道事業における建設改良費が前年度に比べ17億27百万円（▲13.9%）減少したためである。一方、資本的支出の財源である資本的収入は168億94百万円で、前年度に比べ14億49百万円（▲7.9%）減少し、このうち地方債は82億86百万円、他会計繰入金は42億71百万円であった。この結果、資本的収入と資本的支出の収支差引は181億2百万円の赤字で、前年度に比べ赤字額が20億6百万円（▲10.0%）減少した。また、基準外繰入金27億31百万円を控除した場合の実質的な収支の赤字額は208億32百万円であった。

3 実質収支

収益的収支と資本的収支を合算し、これに繰越財源等を調整した実質収支については、前年度に比べ1億81百万円（9.4%）増加し、21億1百万円の黒字であった。一方、基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支は13億6百万円の赤字であり、下水道事業39事業、宅地造成事業6事業、市場事業6事業、観光施設事業2事業、と畜場事業及び介護サービスで各1事業の合計55事業が実質的な赤字を生じている。

第14表 法非適用企業の決算状況の推移

(単位：千円、%)

項目	H25	H26	H27	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較		
						B-A(C)	C/A	
収益的収支	総収益 (a)	31,385,547	33,774,006	35,168,913	36,100,538	35,480,162	▲ 620,376	▲ 1.7
	営業収益 (b)	16,156,950	17,969,933	18,853,078	20,081,154	19,761,771	▲ 319,383	▲ 1.6
	うち料金収入	14,357,374	16,130,295	16,847,412	18,063,606	17,448,065	▲ 615,541	▲ 3.4
	他会計繰入金	16,490,339	16,806,177	16,920,015	16,952,457	16,891,322	▲ 61,135	▲ 0.4
	総費用 (c)	17,730,064	18,024,823	17,635,810	17,299,535	16,912,045	▲ 387,490	▲ 2.2
	営業費用	11,030,134	11,669,034	11,708,747	11,768,492	11,862,557	94,065	0.8
	うち職員給与費	1,195,373	1,192,403	1,202,457	1,275,820	1,229,000	▲ 46,820	▲ 3.7
	支払利息	6,565,628	6,144,147	5,783,243	5,358,076	4,871,679	▲ 486,397	▲ 9.1
収支差引	13,655,483	15,749,183	17,533,103	18,801,003	18,568,117	▲ 232,886	▲ 1.2	
資本的収支	資本的収入	19,834,600	23,463,580	18,641,794	18,343,503	16,894,138	▲ 1,449,365	▲ 7.9
	地方債	9,849,400	12,829,500	9,357,900	9,268,700	8,286,300	▲ 982,400	▲ 10.6
	他会計繰入金	5,463,085	5,104,110	4,089,075	4,016,143	4,270,788	254,645	6.3
	資本的支出	33,247,760	37,920,612	33,705,599	38,451,894	34,995,842	▲ 3,456,052	▲ 9.0
	建設改良費	12,359,492	18,530,680	14,233,714	13,895,952	12,225,066	▲ 1,670,886	▲ 12.0
	地方債償還金 (d)	20,491,472	18,973,553	19,209,033	20,612,932	21,483,321	870,389	4.2
	収支差引	▲ 13,413,160	▲ 14,457,032	▲ 15,063,805	▲ 20,108,201	▲ 18,101,704	2,006,497	10.0
実質収支	1,556,880	2,521,795	4,906,201	1,920,477	2,101,182	180,705	9.4	
黒字	1,556,880	2,521,795	4,906,201	1,920,477	2,101,182	180,705	9.4	
赤字 (Δ) (e)	-	-	-	-	-	-	-	-
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	82.1	91.3	95.5	95.2	92.4	▲ 2.8	-	
赤字比率 (e)/(b)	-	-	-	-	-	▲ 0.1	-	
総事業数	89	87	86	86	84	▲ 2	▲ 2.3	
うち建設中	2	2	1	-	-	-	-	
収益的収支で赤字の事業数	3	4	3	3	3	-	-	
実質収支で赤字の事業数	-	-	-	-	-	-	-	

(注) 1 本表の数値は、建設中の事業を含むものである。

2 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。

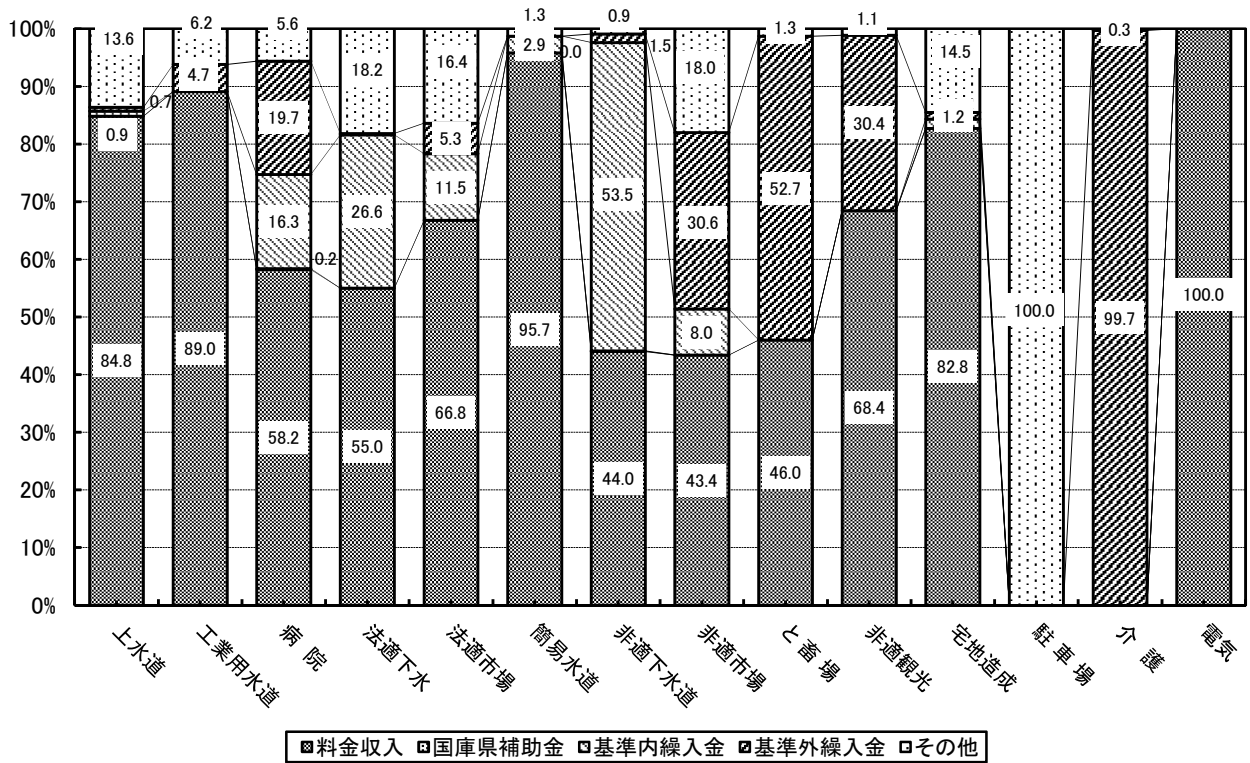
第15表 法非適用企業の決算状況の推移

(単位：千円、%)

項目	簡易水道	公共下水道	特設下水道	農業集落	小規模	特对生活	下水道	市場	と畜場	観光施設	宅地造成	駐車場	介護サービス	電気	合計
総収益	75,984	24,581,305	1,445,051	4,004,582	6,352	136,151	30,173,441	163,531	63,858	251,362	4,539,334	143,214	13,615	55,823	35,480,162
営業収益	73,212	13,595,204	501,575	932,128	465	80,323	15,109,695	94,551	30,213	174,490	4,080,535	143,208	44	55,823	19,761,771
うち料金収入	72,774	11,778,862	499,708	930,341	465	80,323	13,289,699	71,049	29,390	172,059	3,757,271			55,823	17,448,065
益		18,425		10,000			28,425								28,425
的	2,209	12,539,883	938,155	3,040,003	5,887	54,576	16,578,504	63,078	33,642	76,430	123,891		13,568		16,891,322
収	59,901	12,820,236	797,664	2,191,357	817	114,881	15,924,958	161,880	60,879	234,337	305,517	99,889	13,616	51,068	16,912,045
支	51,675	8,778,676	540,183	1,490,981	385	101,369	10,911,594	152,673	60,533	228,815	301,947	95,025	10,649	49,646	11,862,557
	8,418	966,597	46,980	117,758		9,246	1,140,581	4,923	12,816	29,886	22,847		9,499		1,229,000
うち職員給与費	4,418	3,911,104	251,860	679,048	432	13,512	4,855,956	4,134	346	447	3,411		2,967		4,871,679
支払利息	16,083	11,761,066	647,387	1,813,225	5,535	21,270	14,248,483	1,651	2,979	17,025	4,233,817	43,325	▲ 1	4,755	18,568,117
収支差引	21,075	13,275,716	1,431,880	696,711	648	85,648	15,490,603	167,953	11,511	6,750	1,160,096		36,145	5	16,894,138
資本的収入		6,811,710	766,890	45,200		36,000	7,659,800				626,500				8,286,300
地方債		3,020,164	379,568	23,592		30,079	3,453,403				8,847				3,462,250
国庫県補助金	21,075	2,807,056	201,381	487,592	648	13,824	3,510,501	167,953	11,511	523,603			36,145		4,270,788
他会計繰入金	47,950	24,799,283	2,105,911	2,537,212	1,943	109,815	29,554,164	167,953	11,511	15,840	5,119,825	42,449	36,145	5	34,995,842
資本的支出	5,800	9,135,764	1,329,893	131,508		83,829	10,680,994	1,598		8,957	1,519,940	5,584	2,193		12,225,066
建設改良費	42,150	15,579,232	764,226	2,352,950	1,943	25,986	18,724,337	166,355	11,511	6,883	2,498,133		33,952		21,483,321
地方債償還金	▲ 26,875	▲ 11,523,567	▲ 674,031	▲ 1,810,501	▲ 1,295	▲ 24,167	▲ 14,063,561			▲ 9,090	▲ 3,959,729	▲ 42,449		▲ 18,101,704	
収支差引	13,453	1,589,305	15,002	259,911	4,763	421	1,869,402	11,580	21,884	29,317	147,421	3,370		4,755	2,101,182
実質収支	13,453	1,589,305	15,002	259,911	4,763	421	1,869,402	11,580	21,884	29,317	147,421	3,370		4,755	2,101,182
赤字(△)															
収益的収支比率(a)/(c)+(d)	74.5	86.6	92.5	88.1	230.1	96.7	87.1	49.8	88.2	104.2	161.9	143.4	28.6	109.3	92.4
赤字比率(e)/(b)															
総事業数	1	23	11	21	1	2	58	6	1	3	12	1	1	1	84
うち建設中															
収益的収支で赤字の事業数															
実質収支で赤字の事業数															
基準外他会計繰入金(収益的)		43,897	71,063	317,130	4,160	13,500	449,750	50,041	33,642	76,430	53,057		13,568		676,488
基準外他会計繰入金(資本的)		1,681,998	176,292	202,623		13,824	2,074,737	84,776	11,511		523,603		36,145		2,730,772
基準外他会計繰入金(計)		1,725,895	247,355	519,753	4,160	27,324	2,524,487	134,817	45,153	76,430	576,660		49,713		3,407,260
控除後の収益的収支	16,083	11,717,169	576,324	1,496,095	1,375	7,770	13,798,733	▲ 48,390	▲ 30,683	▲ 59,405	4,180,760	43,325	▲ 13,569	4,755	17,891,629
控除後の資本的収支	▲ 26,875	▲ 13,205,565	▲ 850,323	▲ 2,013,121	▲ 1,295	▲ 37,991	▲ 16,138,298	▲ 84,776	▲ 11,511	▲ 9,090	▲ 4,483,332	▲ 42,449	▲ 36,145		▲ 20,832,476
控除後の実質収支	13,453	▲ 136,596	▲ 232,353	▲ 259,842	603	▲ 26,903	▲ 655,085	▲ 123,237	▲ 23,269	▲ 47,113	▲ 429,239	3,370	▲ 19,713	4,755	▲ 1,306,078

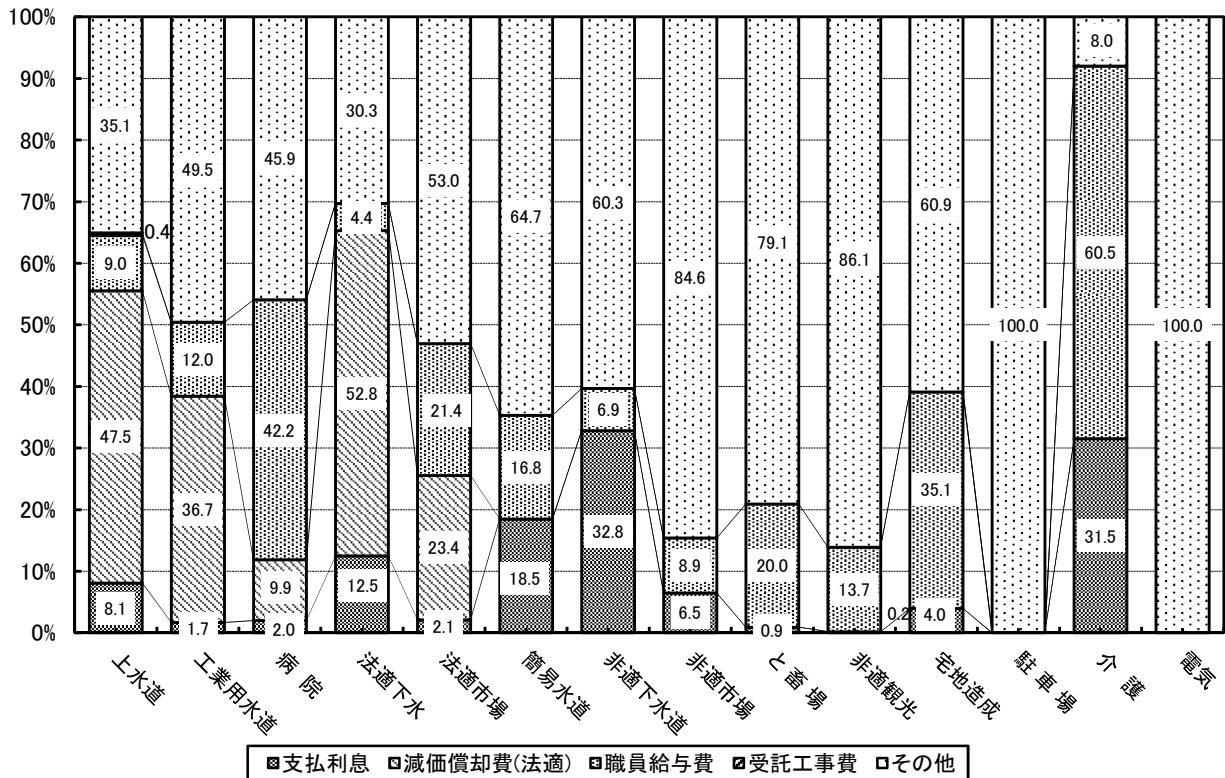
(注) 1. 営業収益は、委託工事収益を含まない。
2. 下水道事業の他会計繰入金は雨水処理負担金を含む。

第10図 収益的収入の構成割合



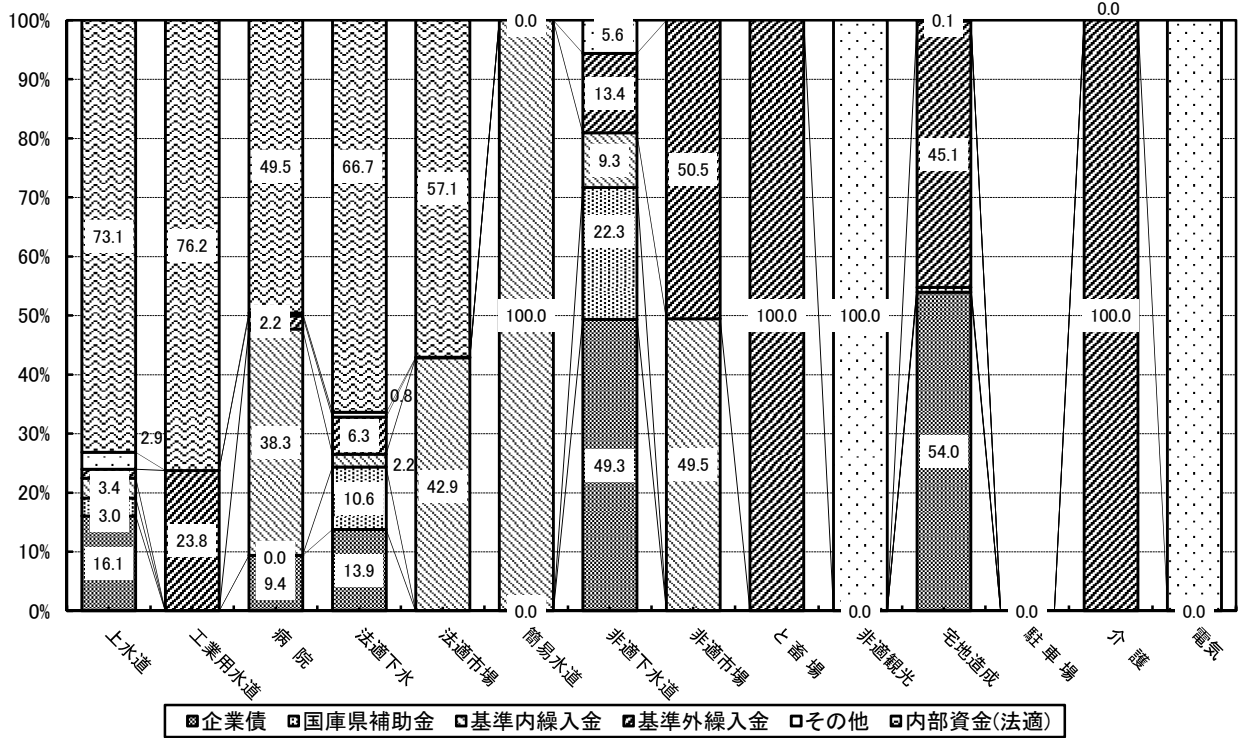
(注) 法適用企業の収益的収入は経常収益、法非適用企業の収益的収入は総収益とした。

第11図 収益的支出の構成割合



(注) 法適用企業の収益的支出は経常費用、法非適用企業の収益的支出は総支出とした。

第12図 資本的収入の構成割合



第13図 資本的支出の構成割合

